



平成31年4月17日
海上保安庁

ゴールデンウィークにおけるマリネジャーの安全対策強化について
(安全推進活動期間：4月27日から5月6日までの10日間)

例年、ゴールデンウィークは、マリネジャーが活発となり、海難が増加する傾向にあります。
海上保安庁では、海難の未然防止や海難に伴う死者・行方不明者数の減少を図るため、安全推進活動期間を設定し、全国でマリネジャーの安全対策を強化します。

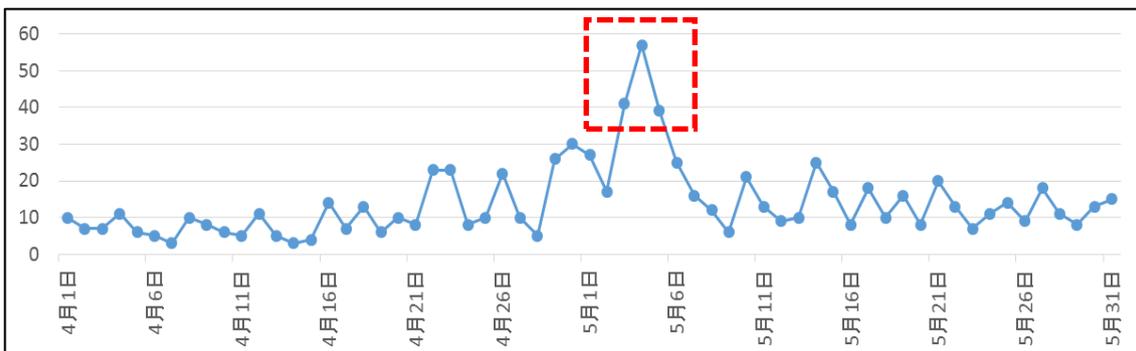
1 プレジャーボートの海難防止

ゴールデンウィークには、プレジャーボート（モーターボート、水上オートバイ等）の海難が増加する傾向にあり、海難種類別に見た過去5年間の内訳では、発航前の点検で防止することが可能な機関故障・バッテリー過放電・燃料欠乏が全体の約5割を占めていることから、以下の事項を中心に安全啓発活動を実施します。

発航前点検の励行

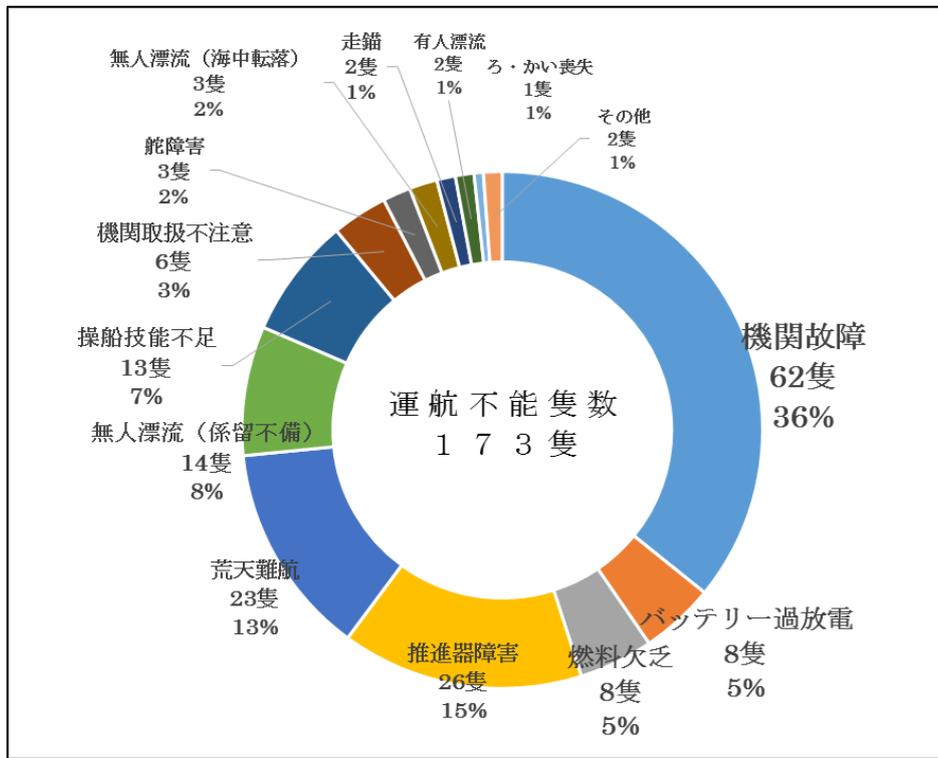
オフシーズンに使用していない船舶を久し振りに使用する際などは、特に発航前点検を重点的に実施するよう洋上での安全指導及びマリーナ、釣具店等のショップを訪問して安全指導を実施するほか、民間ボランティアである海上安全指導員等と連携した合同パトロールを実施します。

プレジャーボート船舶海難隻数 (H26-H30)



プレジャーボートの運航不能種類別海難隻数

(H26-H30 GW期間中 累計)



2 ミニボート及びカヌーの海難防止

過去5年間の月別発生状況では、両船種とも5月に最も多く発生しており、ミニボートは、転覆、浸水海難が全体の約4割を占め、カヌーは操船技能不足により航行不能となる海難が全体の約5割を占めています。

両船種ともに海の知識に乏しく経験年数の浅い乗船者による海難が多く発生していることから、以下の事項を中心に安全啓発活動を実施します。

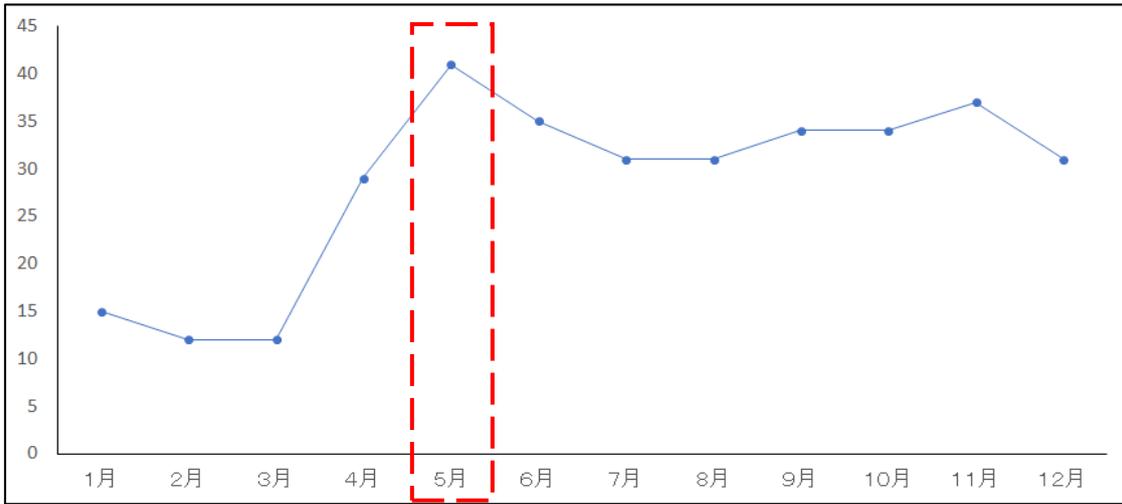
(1) ウォーターセーフティガイドを活用した知識及び技量の習得

安全に安心して海のレジャーを楽しむためには、海上交通ルールや特殊な構造を正しく理解することが重要であることから、ウォーターセーフティガイドを活用した安全啓発活動を実施するなど、ユーザーの知識及び技量の習得を啓発します。

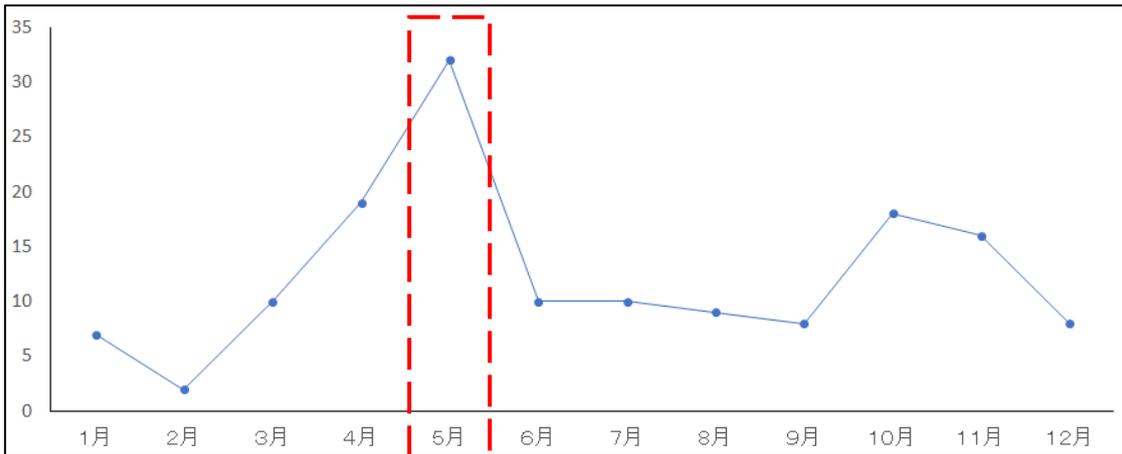
(2) 気象情報の早期入手

気象の影響による海難が多数見受けられることから、海の安全情報等て提供するリアルタイムな気象情報を早期に入手し、悪天候が予想されるときなどは早期に帰港するように指導します。

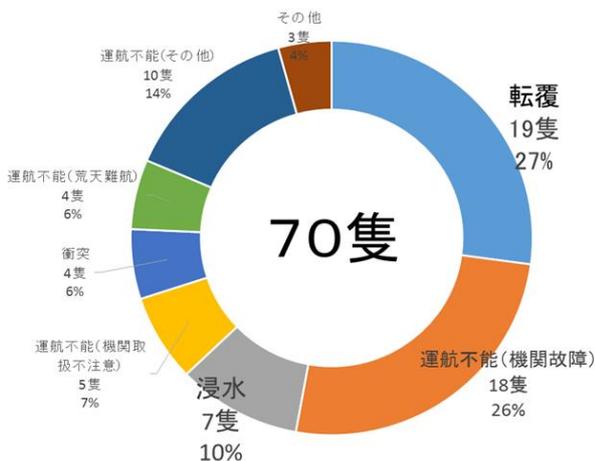
月別のミニボート船舶海難隻数 (H26-H30累計)



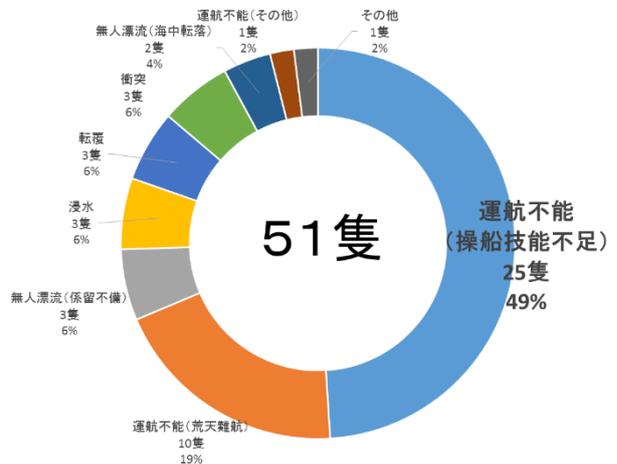
月別のカヌー船舶海難隻数 (H26-H30累計)



ミニボートの船舶海難種類別発生状況 (H26-H30 (4-5月) 累計)



カヌーの船舶海難種類別発生状況 (H26-H30 (4-5月) 累計)



3 釣りにおける岸壁及び防波堤での海中転落事故防止

釣り中の事故は春季にかけて増加する傾向にあり、岸壁及び防波堤から海中転落する事故が数多く発生しています。

過去5年間の事故者のうち、約4割の方々が死亡・行方不明等となっていることから、以下の事項を中心に指導、啓発活動を実施します。

(1) 複数行動の励行

単独行動と複数行動における死亡率を比較すると、単独行動では約5割の事故者が死亡・行方不明になっているものの、複数行動では約1割に減少することが判明しています。

複数行動することにより、人命に関わるリスクを大幅に減少させることが出来ることから、釣り人に対し、複数行動するように啓発します。

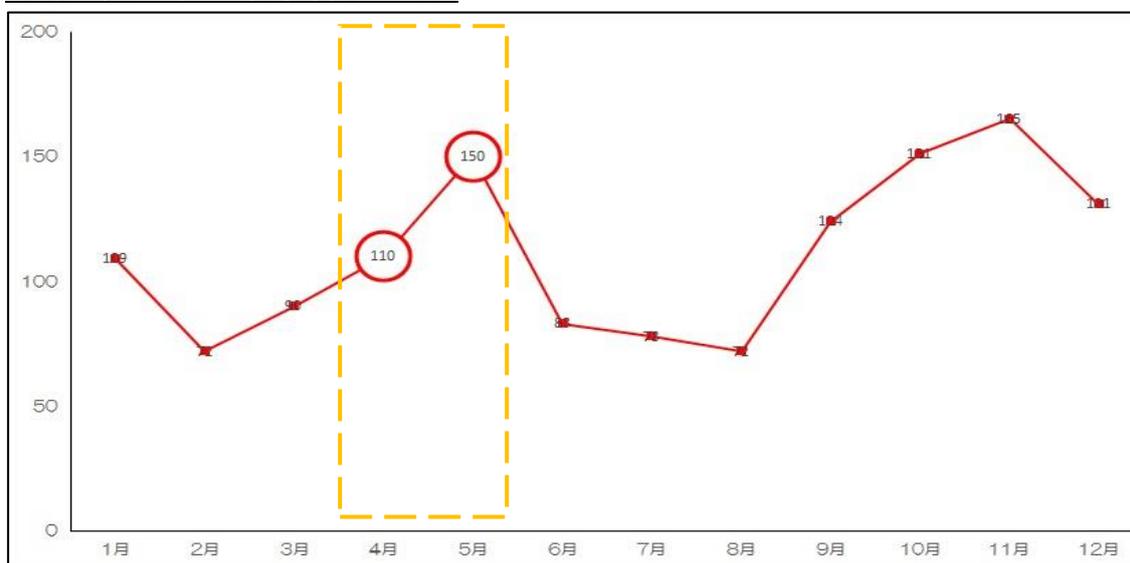
(2) 危険箇所の把握

年齢、体力、健康状態等に応じて安全な釣り場を選定するように現場指導を実施するほか、足元が滑りやすい場所、段差、突起物などの危険箇所を事前に把握して、つまずき等による海中転落を防ぐように指導します。

(3) 子供から目を離さない

例年、保護者が目を離した隙に子供が岸壁等から海中転落する事故も発生していることから、保護者に対し、子供から目を離さないように指導します。

月別の釣り中人身海難発生状況



4 安全対策のために

(1) ウォーターセーフティガイド

海上保安庁では、カヌーや水上バイク、ミニボート、SUP(スタンドアップパドルボード)などのウォーターアクティビティごとに事故防止のための情報をとりまとめた総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」を開設し、各種機会を捉え、本サイトの周知活用することにより、安全対策を推進しています。



ウォーターセーフティガイド

で

検索



(2) 海難の現況と対策

平成30年に発生した海の事故について取りまとめた「平成30年 海難の現況と対策」を作成しました。

「海難の現況と対策」には、海難の発生状況の統計や事故事例に加え、傾向と分析に基づく具体的な海難防止対策などを掲載しております。

海上保安庁ホームページに掲載しておりますので、船舶運航やマリナー活動の安全確保のためなど、広く活用して下さい。

「海の事故情報」をクリック

平成30年
海難の現況と対策
～大切な命を守るために～

- 海上保安庁の政策目標及び達成状況
- 海難の現況
- 海難の防止対策
- 救助状況及び海難発生時の救命率向上策

JCG 海上保安庁

JCG 海上保安庁

>> English
文字サイズ変更 標準 拡大
サイト内検索 検索開始

ホーム 海の安全 基礎知識 資料 イベント等 募集・申請 各種手続 任務・装備・予備等 組織・政策 広報 ご意見・ご質問

【海上保安庁業務紹介動画】～海を愛し、海を守る～

海上保安体制強化に関する関係閣僚会議の開催について

尖閣諸島周辺海域における中国公船及び中国漁船の活動状況について

海の安全・基礎知識	資料・イベント等	募集・申請・各種手続
海の事故情報	海上保安レポート（海上保安白書）	職員採用/学生採用
海の事故防止対策	海上保安庁パンフレット	誤送情報

海難の現況と対策

で

検索

(3) 海の安全情報

海上保安庁では、ホームページ等で気象現況や注意報等の海の安全情報を提供しています。海に出かける際には、ぜひご利用ください。

パソコンやスマートフォン、携帯電話から簡単にアクセスできます。

海の安全情報

で

検索

5 参考（活動写真等）

